

第8回総会盛会裡に開催！

2月8日（日）10時から、研修棟103号室で会員21名が集まり、第8回定期総会を開催しました。

総会は青崎代表の挨拶で始まり、続いて田代知博さんを議長に選出し議事を進めました。

昨年度は19年9月から20年12月の変則期間でしたが、21年度からは1月から12月までの期間と整理してスタートしました。総会では、花いっぱい運動の取組みや園芸福祉庭園「はなちどり」の発足、緑の都市賞受賞などが報告され、21年度の植林や市内の花植栽など新たな取組みが承認されました。

総会の終わった後、懇親会に移り、向こう1年間の夢を語り楽しい一時を過ごし散会しました。



◆ 園芸福祉・活動事例発表会開催決まる！

3月22日（日）古賀市中央公民館の研修棟103号で園芸福祉の活動事例発表会を開催することが決まりました。以前から福岡市で開催の予定で準備していましたが、日ごろの活動状況などから、今回は古賀市で開催することにしました。

運営主体は古賀を含めた、“ふくおかネット”で進めますが、古賀の園芸福祉の現状から、活動の活性化に必要な判断もあり、園芸福祉士の学習のため、会員の皆さんの御協力をお願いいたします。

発表内容は、本部からの基調報告の後、古賀の事例と福岡の事例2件、それに県外から2件ほどの事例発表になる予定です。詳細は追って連絡いたします。

◆ 「植樹祭記念品用」竹炭完成！



2月3日と10日の2日間にわたり、今年3月7日の植樹祭で「育林行動皆勤者」に記念品として贈る竹炭の袋詰めを行い、10月の竹伐りから始まった竹炭がこの日完成しました。

会員は園芸福祉庭園「はなちどり」のビニールハウスに集まり、粉炭防止用マスクを口に当て、竹炭の汚れを取除いたり、規定の長さに切りそろえ、計量した上で炭の使用説明書を添えて、袋詰め作業をしました。作業後は、はなちどりで収穫したハーブティーを皆で楽しみ、春間近なビニールハウス内に賑やかな談笑の音が響いていました。（皆勤者には花苗も準備しています）

◆ クズ撲滅へ全力！

緑のまちづくりの会では会員の総力を挙げてクズ撲滅に努めています。2月12日の森づくりの日は9時半から6名の会員がコスモス館東のクズ根掘りを行いました。クズ根掘りは植林後になると苗木の根を傷めて枯らすことから、植林前のこの時期に是非終わっておきたい作業です。今年植林予定地のクズ撲滅対策のクズ根掘り人数は、1月12日から2月18日までで延べ49人となりました。

一人の会員は、「前回クズ退治に参加して、これで立派な林になると思ったら楽しいものです」と前回に続き今回も参加して頂きました。

◆ 3月釜山で園芸福祉発表会

福岡の園芸福祉全国大会以降、韓国の釜山市と交流が続いていましたが、今回、活動事例発表会の韓国版が釜山花卉消費者会の主催・釜山市役所後援で、3月27・28日に釜山市役所において開催されることが決まりました。事例発表に福岡市やふくおかネット、古賀にも参加要請があり、えんがわくらぶの“お花をどうぞ”の事例を発表することになりました。

◆ 今年も密植植林です

3月7日（土）は植樹祭です。植林は今年もポット苗による宮脇方式の密植植林です。

宮脇方式は密植方式をとることで、樹木間の競争が始まり、優勢種の生長を促すのが特徴です。低木を混植することで林の厚みを増しています。密植は林の密度を高め、雑草の繁茂を押さええます。グリーンパーク植林地の手入れは、主としてボランティアの力を借りることから、草刈は3年程度の短期間で仕上げることを目標にしています。竹を放置すると森が荒れます。グリーンパーク公園植林地の大部分は竹林跡地ですが、竹の地下茎は植林後も生き続けるため、地表日光を減らすことで竹の再発生を抑制します。密植状態を維持することで、クズやツル類などの生育抑制を期待しています。

新日鐵大分工場の防災・環境保全林は有名で、この森づくりの成功によって、企業や地方自治体など宮脇方式を取り入れた森づくりが盛んになっています。

◆ 各地で講話

宿理会員は、2月11日・帆柱山自然公園愛護会研修会、古賀市10万本ふるさとの森づくり。2月13日・コスモス市民講座・古賀の樹木。2月14日・岡垣町環境保全リーダー養成講座・刃物の取り扱いの講話を行いました。

会員の声

ふれあい活動 幸咲き

会員の皆様には 無知な私に苗の植え方から教えてくださり、いつも楽しく参加させて頂いております。私は、豊かな心の和を広げるために、園芸や農業体験などを通して、成人と子ども達、高齢者が、障がいの有無を問わず、世代間で交流できる場の提供・普及活動に寄与したいと思っておりました。本会に参加させて頂いて、自らが好きなことで地域の皆さんが幸せになる活動は、とてもやりがいがあると実感しております。

先日、皆さんと植えた花が気になって、一人で老人ホーム「みどり苑」に行ってみました。職員の方に断って散水して、グラウンドで散歩されていたご婦人に挨拶すると、「こんにちは、職員の方ですか？」とおっしゃいました。「いえいえ、ボランティアですよ」と答えると、「あっそうですか、偉いですね」と言われたので、私は「いえいえ、好きだからですね」と答えました。そのあと「綺麗ですね～これはなんという花ですか？」と聞かれたので、私は“ドキッ”としました・・・家に帰って花辞典まで引いて・・・活動幸先・・・順調(?)です。

私は古賀町に生まれて33年が経とうとしています。まだまだ私は、園芸福祉の場の提供活動をするどころか、自らが世代間交流している感じですが、それこそこの楽しさを伝え、すべての方が古賀で暮らし続けたいと思うまちづくりを目指して、皆さんや市民の方々ともふれ合いながら、花や緑とともに育っていきたくと思っています。

中 村 直 史